人と自然が輝く町
TATESHINA TOWN
立科町

プレスリリース

平成 29 年（2017 年）12 月 15 日

初めての開催!!

タテシナソン

- 立科町をヤバくする学生アイデアソン、リアルガチの 28 時間。-
の参加者を募集します！

立科町の企業・商店がかかえる悩みについて、全国から集まった学生たちがチームを組んで【現場を知り、町なかを走り、夜を徹して議論し】、磨き上げたアイデアで解決策を提案する「学生アイデアソン※」を開催します。

※アイデアソンとは　「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語。
ある特定のテーマについて、異なる分野の人たちが複数のチームに分かれて、数時間～数日間自由にアイデアを出し合い、斬新な提言を行うプログラムのこと。（経済産業省 HP から抜粋）

1　企画の特徴

（１）立科町の企業・商店の本物の困りごとを解決！
学生が知恵を振り絞るのは、本当に町内企業が現場で困っていることだけ。

（２）与えられた時間は 28 時間！
課題が与えられてからプレゼンまでの時間は 28 時間。初めて会ったメンバーがチームに分かれ、課題を解決するアイデアを練り上げていきます。

（３）アイデアが良ければ、採用&実施します！
磨き上げたアイデアが素晴らしい内容であれば事業者が採用し、事業化に向けて動き出します。

2　開催概要

（１）日程　　平成 30 年 2 月 17 日（土）～18 日（日）
（２）会場　　立科町ふるさと交流館「芦田宿」
（３）参加費　無料（立科町までの交通費と食費は自費）
（４）定員　　15 名

詳細は　http://tateshinathon.com/

立科町マスコットキャラクター
しいなちゃん

関連する資料：添付資料「開催チラシ」
立科町公式ウェブサイト　http://www.town.tateshina.nagano.jp

立科町　企画課　企画振興係
（課長）遠山一郎　（担当）上前知洋
電話：　0267-88-8403（直通）
FAX：　0267-56-2310
E-mail：kikaku@town.tateshina.nagano.jp

タテシナソン

長野県
立科町
Great!

タテシナ町
×
アイデアソン
＋
学生

Wooo!!

就活の話の
ネタはこれで
できた!

その優れた
アイデアを
企業が町が
採用する!!

学生の
アイデアが
企業・商店
地域を救う!

oh!!

YES!!

立科町をヤバくする
学生アイデアソン、リアルガチの
28時間。タテシナソン

CHECK

2017▶18
2018

参加者募集
http://tateshinathon.com

委託事業者：まちづくり協議会ユーユーたてしな　委託事業元：立科町
後　援：(一財)浅間リサーチエクステンションセンター・iitoco!!・佐久平中小企業振興協会・信濃毎日新聞社・(一社)新経済連盟・信州大学・立科町商工会
(一社)蓼科白樺高原観光協会八十二銀行・東信州次世代産業振興協議会・長野県・長野県信用組合・(公財)長野県中小企業振興センター・公立大学法人長野大学

12月1日現在(50音順)

学生たちが立科町を面白くする。

信州にある高原の町、長野県立科町。
この町にも、集客や販路開拓、人材募集や経営に関する、いくつもの悩みを抱えながら奮闘している企業や商店がある。そんな事業者の悩みを、全国から集まった学生たちがチームに分かれ、仲間と協力しながら限られた時間の中で町中を駆け巡り、徹底的に議論して、磨き上げたアイデアで解決策を事業者へプレゼンする学生アイデアソン、それが“タテシナソン”。
バックグラウンドが違う学生が集まることで生まれる創造的な時間は、わずか28時間。最後に待つはガチのプレゼンバトル。
大きな夢を語るだけではなく、リアルに実現可能なアイデアを提案することで、町内の企業や商店が、実現に向けて動き出す。
この冬、学生たちが立科町を面白くする。

※アイデアソンとは 「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語。ある特定のテーマについて、異なる分野の人たちが複数のチームに分かれて、数時間～数日間、自由にアイデアを出し合い、これまでになかった斬新な提言を行うプログラムのこと。（経済産業省HPから抜粋）

2018.2.17 sat ～ 2.18 sun

仲間とひと晩かけて アイデアを練り上げる。

10:00 → 16:30

長野県立科町内
メーン会場 | 立科町ふるさと交流館「芦田宿」
長野県北佐久郡立科町大字芦田 2602-1

参加資格は学生（高校生・大学生・専門学校生等）
高校生は保護者の同意書が必要です。

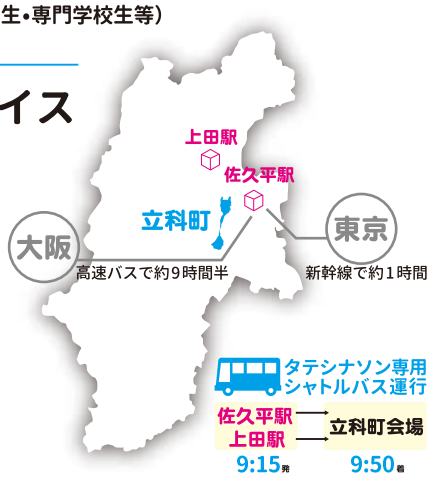
持ち物はデジタルデバイス
(PC・タブレット・スマホ等)
防寒着や着替え等
参加者には後日詳細をお伝えいたします。

参加費 ¥0
必要なのは立科町までの交通費と2日間の食費のみ

申し込みはwebで
定員(15名)に達し次第、受付終了となります。
応募者には事前審査があります。

宿泊先は立科町内
ご宿泊は事務局で手配いたします
(素泊まりになります。)

http://tateshinathon.com



リアルガチの28時間。

2.17 sat

10:00 ▸ 11:00 開ソン式
何はともあれ、まずは立科名物りんごジュースで乾杯！初めて出会った仲間たちと親睦を深めて、立科町に飛び込んでいく準備をしよう！ドキドキのチーム分けをした後に、今回の“お悩みを抱えている企業”からいよいよ課題が発表されます。そして 28 時間のカウントダウンが…。

11:00 ▸ ワークタイム
いよいよガチな 28 時間がスタート！
与えられた課題に対し、どんなアイデアで解決するか。ヒントはどこかに転がっているはず。データを収集するもよし、町民に聞き込みをするもよし。時には休憩や仮眠をしながら、見方を変え、発想を転換し、仲間と熱いディスカッションを重ねて見えてくるアイデアをつかまえろ！

2.18 sun

14:30 ▸ 公開プレゼン
チームでまとめあげたアイデアをみんなの前でプレゼンテーション。表現方法に制限はありません。いいアイデアだったら企業代表者が「採用！」します。
プレゼンテーションの後は、タテシナソンに関わったみんなでまちづくりや未来の地方の話をしよう。
公開プレゼンテーションはどなたでも参加できます。ぜひ学生たちの熱いプレゼンを見に来てください。

15:30 ▸ 閉ソン式
立科町の美味しい物を食べながら、28 時間を一緒に駆け抜けた仲間を称えあおう。参加者は全員、もう立派な「タテシナソン民」だ。